

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―一九
甲府地方事務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさくあたたかい言葉です。

通路を大部隊が通行する難しさが感じられ、その面で課題が残った。

甲府G 静岡市委員と交流

人権週間の催し多彩に 冬空に鼓笛の演奏力強くいただきました

今年第五九回目となる人権週間(一二月四日〜一〇日)には、例年通り県内各地で特設相談所の開設、駅頭・街頭・広報車による啓発活動など様々なイベントが実施された。

一二月九日(日)には甲府駅頭から甲府市中心部にかけて「人権啓発パレード」が実施され、快晴の冬空に城北幼稚園児の演奏する鼓笛の曲が力強くこだました。

今年午前は、一日人権擁護委員に委嘱された中学生人権作文コンテストの上位入賞者、ヴァンフォーレ甲府のコーチ、タレントの「髭男爵」を中心に、山交・エクランなどデパート内での啓発活動を行った。中でも「髭男爵」によるショートコントに、集まった来客も笑顔を見せていた。

午後にはこれに城北幼稚園の園児七〇名による鼓笛



新しい年を迎えて

会長 丸山 公夫

新年あけましておめでとうございます。委員の皆様にはご健勝で明るい新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

日頃、皆様がそれぞれの立場での豊富な経験を生かし、人権擁護活動に尽力されておられることに、私は心から敬意を表し、感謝申し上げます。本年も諸行事をはじめ、人権相談、人権啓発、さらに、増加しつつある人権救済活動等につきましても、多大なるご協力のほどをお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

隊と、一三二名の委員を加えた、総勢二〇〇名に近いパレード隊が編成され、冬の甲府の街に、人権の大切さをアピールしながら行進した。行進の途中、拉致問題に関わる



山梨の支部長さんからの激励を受ける一幕もあった。今年甲府駅頭から中心部の商店街までパレードのコースを延長し、それはそれなりに啓発・広報の効果は上がったと思われるが、狭い

通路を大部隊が通行する難しさが感じられ、その面で課題が残った。

一月二日、静岡市静岡地区委員一名と、甲府グループ八名の交流研修会が司法書士会館で行われた。冒頭、それぞれの代表から両県連の活動の説明があった。甲府グループからは委員の役割分担による活動の推進と、一八年度・一九年度の主な活動(標語募集による啓発活動・救済委員会設立・富士登山での啓発活動等)を説明。静岡の清水副会長からは組織体制の紹介に続き、人権啓発ポスター募集と活用・高齢者施設への人権啓発・市長や市議をはじめ各種団体との交流などが説明された。

意見交換の場では、救済委員会の詳細な説明や、富士登山啓発活動を合同実施する提案もあり、予定時間を超え熱心に話し合われた。

各地でも秋の啓発活動

行楽の秋、下記のように各地の祭り会場などで、委員や法務局員による多彩な人権啓発活動が実施された。

開催月日	開催場所	行事名	内容
10月 7日	日本航空学園(甲斐)	甲斐市わくわくフェスタ	ぬりえと剣玉、啓発物品配布による人権啓発活動
10月21日	ふれあい総合公園ほか(甲州)	甲州およっちょい祭り	模擬店出店、パンフレット配布
10月21日	富士北麓公園(富士吉田)	ふれあいフェスティバル	人権パネル展示、啓発物品配布、特設人権相談ほか
10月27日	市保健センター(山梨)	山梨市健康まつり	啓発物品配布による人権啓発活動
11月10~11日	小瀬スポーツ公園(甲府)	ふれあいフェスティバル	人権パネル展示、啓発物品配布、特設人権相談ほか
11月10日	桂高等学校(都留)	講演会	「ありのままのあなたがすばらしい」講師：南 修治氏
11月11日	やすらぎ水辺公園(鉾沢)	大柳川もみじまつり	啓発物品配布による人権啓発活動
11月11日	利根川公園ひろばほか(増穂)	甲州増穂まつり	人権パネル展示、啓発物品配布、特設人権相談ほか

人権作文コンテスト表彰式

第二七回全国中学生人権作文コンテスト山梨県大会表彰式が、全国人権週間中の二月八日、山梨文化会館地下ホールで行われた。今年度の県内参加校は九三校(九二パーセント)と、全国平均(六〇・五パーセント)を大きく上回った。

応募総数

は三、八六一編と膨大な数に上り、委員各位の熱心な取り組みの成果を、数値の上からも如実に見て取る事ができる。

応募作品

を内容別に見ると、ここ数年の傾向と同じく、「いじめ」が四〇パーセント強で圧倒的に多く、以下「戦争と平和」「障害者」「環境問題」と続く。依然として「いじめ」は学校現場において深刻な問題で、生徒たちの最大の関心事であるようだ。

表彰式当日は、甲府地方法務局長賞の塩山北中学校



三年窪田さおりさんから順に、壇上で表彰状が手渡された後、上位四作品の本人による朗読が行われた。活字で読むのとは違い一段と感動的で、目頭を押さえる付添家族や委員の姿も見受けられた。

窪田さんの、県大会最優秀作品『「赤ちゃんポスト」を通して命を考える』は全国大会に提出され、奨励賞を受賞している。

本コンテストは、どの応募作品からも、「人権問題」に対する生徒たちの熱く真剣な目差しを窺い知ることができ、人権擁護委員として、毎年のことながら身の引き締まるような大きな刺激を受ける。次の活動への原動力となつていとも言えそ

第一回、第二回 県連研修会

一〇月二三日、十一月二〇日の両日、県連主催の研修会が開催された。

第一回は敷島総合文化会館において、法務局職員に

よる「相談票の書き方」等の講義の後、恒例の分科会討議が行われた。今年度の分科会のテーマは、「家庭内における養護の放棄」「何者かによる陰湿な嫌がらせ」「相続と登記」の三つ。どの分科会も白熱の討議が時間いっぱい展開された。

第二回は鳴沢村フジエポックホールでの開催。特別養護老人ホーム富士山荘の統括相談員・渡邊弥生氏による講演「身体拘束廃止に向けた取り組み」は、詳細なデータや生の資料、現場に関わるものならではの苦悩などが次々に紹介され、深く考えさせられた九〇分であった。研修の最後、ホール正面に現れた富士の壮麗な姿とともに、強く記憶に刻まれる研修となった。

県連研修も年々充実、委員の研鑽の場としてその重要性を増している。

関東ブロック委員研修会

一〇月二九、三〇日、東京法務局で委員研修会が開催され、丸山県連会長ほか八名が出席。山梨県委員は分科会「社会福祉施設等における相談・啓発活動について」の運営を担当したが、大村委員

委員から一言

命の大切さ
弦 間 泉(笛吹)
豊富小学校で「平和と命の大切さ」の話をする機会を得た。一年生へのこの話は、今年で三年目。今回は父母参観日に行われ、父母も共に考える機会となった。戦争体験者が少なくなる中で甲府空襲の体験の話の中から平和の大切さとかげがえのない命の大切さを考え、命は自分のものだけどもんなのもの、いじめをなくしお互いに助け合うことを約束した。

女性の人権ホットライン
十一月二日から一八日までの七日間、「女性の人権ホットライン」強化週間が全国一斉に実施された。期間中の相談件数は八件と、数こそ多くはなかったが、家庭内暴力などの深刻な相談に、各担当委員は緊張しつつも、懇切丁寧に対応していた。八件の内訳は、「暴力・暴行」3、「強制・強要」1、「その他」4であった。

退任された委員の方々

平成一九年一月二、三〇年一月付けで次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます。)

- 阪本 緑 (甲州市)
- 山田 喜和 (山梨市)
- 金丸 一 (南アルプス市)
- 小松 勲 (北杜市)
- 早川 俊英 (早川町)
- 鍋田 芳彦 (南都町)

事務局から

人権標語コンテスト応募状況
小学生部門 五、五七三
中学生部門 三、五三二
一般部門 八〇
合計 九、一八五
昨年の三倍の応募に嬉しい悲鳴が上がっています。

ご協力に感謝いたします。
SOSミニレターの状況
一二月一七日現在、七四通に達しており、法務局員と委員とで対応しております。

編集後記

明けましておめでとう



本年もよろしく
お願ひ申し上げます。
事務局員一同